



1\_先住民族のアボリジニとのダンス体験 2\_オーストラリアでは、朝食はシリアルなどで軽く済ませる家庭が多い 3\_ホストファミリーと緊張の初対面 4\_世界遺産グレートバリアリーフ（世界最大のサンゴ礁地帯）を見学 5\_お世話になったケアンズ州立高校の先生と握手でお別れ 6\_研修4日目の自由研修では、街中の人と気軽にコミュニケーションをとれるまでに 7\_標識などはもちろん英語表記 8\_色とりどりの果物などが並んでいた朝市 9\_オーストラリアの街中にも出没するというカンガルーとの1枚

11月7日午前9時——白鷹中学校3年生8人と荒砥高校2年生4人が、白鷹町から約6千キロ離れたオーストラリア北東岸の都市「ケアンズ」へと出発しました。

### 異文化への挑戦を後押し

白鷹町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる「白鷹人」目を世界に、心ふるさと「プロジェクト」。その一環として昨年度から実施しているのが「青少年国際交流事業」です。

今年度は、研修生の人数を8人から12人に増員。中学生は応募者17人から作文と面接の結果選考された8人が、高校生は学校推薦の4人が参加しました。

さらに、前回の研修生からの要望に応え、ホームステイの日程を1泊から2泊に延長し、研修生一人ひとりが自分で考え、積極的に異文化交流に挑戦できる時間を増やしました。

### 違いを見つけ、良さを知る

研修生たちは、9月から3回にわたる事前研修会を経て、11月7日〜12日の日程で渡豪。研修に参加した全員が初めて訪れるというオーストラリアは、白鷹町との時差こそ1時間程度で

すが、季節は真逆。そして、周りで飛び交う言語はもちろん英語と、現地に入っただけに日本とのさまざま違いを肌で感じます。

そして、現地の学校の生徒やホストファミリーとの対面・交流、世界遺産の見学や、先住民族との異文化体験などを通して、自然や食、人、文化の違いを見つけ、それと比べながら白鷹町の良さを再発見していきま

### 気づきや発見が成長へ

オーストラリアから帰国した研修生たちは、翌々に佐藤町長を訪問し、一人ひとりが研修で発見したことや感じたことなどを報告。その後、現地で学んできたことを事後研修会で見つめ直し、白鷹中学校では12月16日、荒砥高校では12月22日に事業報告会を行いました。

同じ学校の生徒、先生、町の教育関係者を前に、それぞれが学び、感じたことなどを英語やクイズを交えて堂々と発表した研修生たち。白鷹町から世界に目を向け、緊張と不安という殻を破り、文化の違いという壁を乗り越えた12人の、一回り成長した姿がそこにありました。

## 研修日程

日付	スケジュール
11/7	白鷹町発・成田空港～
11/8	ケアンズ着／自然・民族・野生動物について研修／各ホームステイ先へ（ホームステイ1泊目）
11/9	現地の学校訪問／各ホームステイ先へ（ホームステイ2泊目）
11/10	グリーン島エコシステム見学／ケアンズ市内自由研修／感想・成果発表会
11/11	現地産直市場見学／ケアンズ発～成田空港
11/12	白鷹町着